

平成21(2009)年5月16日第7号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

聴き方、話し方

私は午前中2回、午後1回各教室を巡っています。時には、諸般の事情でいけないときもありますが、入学式以後1ヶ月半経ち、色々と気がかりなことが出てきました。

その1 「聞き方」と「聴き方」

先生や級友の説明や質問、発表などをキチンと聞く姿勢が不十分であると言うことです。この「聞き方」と言う文字を使用するよりも「聴き方」と書いた方が良いのかも知れません。つまり「聴く」の意味する「耳を傾け注意して聞き取る」という意識と態度を体得化させたいものです。話し手の方に身体を向け、顔を見、目を見ながら聴く姿勢を保ちたいと思いました。後ろを向いていても、誰かと私語を交わしていても声は聞こえるから、構わないというのではよくありません。

その2 「話し方」

中学部で1分間スピーチをするそうですが、話すときには、みんなの顔と目を見渡ししながら、全員に聞こえるように「大きな声ではっきり」と発言したいものです。下を向いてボソボソと言っている児童生徒が多いようです。折角の発言です。自分の考えたことをしっかりと伝えたいものです。正しい解答・回答であるにこしたことはないが、間違っていたならば訂正すればよいのです。小学部低学年、中学年、高学年、そして中学部・高等部と学年が進めば、それなりの話し方がありますが、基本は「大きな声ではっきりと」です。

その3 「効き方」・・・効果の具合

「聴き方」と「話し方」がキチンと出来るようになると学習の理解が大きく深まります。学習生活による作用や影響が顕れ、思考経路が発達するのだと思います。これら「聴き方」「話し方」については、各学年の発達段階を踏まえ、各担任の先生が随分と指導しています。

ご家庭にありましても、わが子との会話の仕方について「これで良いのだろうか」とふり返ってみられた如何でしょうか。思春期にさしかかる年頃になると、この会話の在り方が大きく変容するのです。小学部のときが肝心です。

学校のまわり探検

小学部3年生

5月9日、第1時限目、小学部3年生は「学校のまわり探検学習」を行いました。この学習は社会科の



「身近な地域」の学習として行われるものです。日本にいるならば、学校周辺の商店や工場などを見学し、そこで働く人などにインタビューし、どのような仕事をしているのか、また、その仕事は自分たちの生活にどのように関わっているのかについて知ることを目的としています。本校では、そこまでは出来ないで学校のまわりを調べて

回ることになりました。出発に先立ち安田先生が全員に諸注意をなさいました。その後、3クラスともボランティアのご協力を得ながら担任に引率されて出発しました。所々で観察や質問をし、手帳などに記録していました。記録された内容はその後、大きな紙にまとめられ発表会に活用したり、また、掲示されることとなります。探検の成果が期待されます。



暑い中、ご協力くださったボランティアの方に心から感謝申し上げます。

休み時間と授業の区別

学校生活に慣れたからかもしれませんが、この区別にこの頃乱れがあります。時間の乱れが学習生活の乱れにつながります。授業中、教室への出入りは学習の集中度を低下させます。児童生徒は手洗いなどは休み時間にキチンとしましょう。また、遅刻や早退の場合には、授業時間中の出入りでなく、休み時間に行っていただきたいと思っています。保護者の皆さま、よろしくご協力のほどお願いいたします。

「生き方在り方」進路指導④

わが子の自己理解を深めるには

進路の指導とは、究極的には「人生、如何に往くべきか」を指導することに尽きます。この「べき」が課題なのです。人は誰しも事をなそうとしたとき、どのような決定・選択を自己責任においてなせば、より自分を生かすことが出来るのか、また、集団や社会に貢献でき、満足のいく生き方在り方を全うできるかを問います。「満足のいく生き方在り方」の基盤にあるのが「自己理解（自分を知る）」なのです。

今回はこの自己理解を深める手立てについて思いを巡らしてみます。

よく人は「あの人との出会いがなかったら、今の自分はない」と言います。子どもたちにとって最初の出会いが両親なのです。赤ちゃんが自分の胎内に宿ったと知ったときの感動、徐々に成長していく10ヶ月間、この間に多くの期待や願いを我が胎児に寄せることとなります。しかし、いよいよ出産となれば、ただひたすらに無事に生まれてくれることを祈ります。そして、どのような名前を付ければ幸せな人生を送ることが出来るのかと思案に思案を重ねて命名となります。成長の過程で病気になったり、怪我をしたり、心配をかける言動もあつたりと親にとっては気の休まるときがなかったとも言えましょう。

さて、現在本校に学ぶ子どもたちは6才の園児から18歳の高校3年生までいます。年齢によって進路発達の度合いが異なりますが、まずは、小学校低学年を対象に自己理解のさせ方を考えてみましょう。

子どもは自分の幼かったころのことを余り記憶していません。特に、3才迄のことなどは実体験としての記憶は殆どないとも言えましょう。低学年の子どもたちは自分のことについて大変に知りたがるものです。

そこで、最初の切り出しは、両親の出会いからになりましょうが、年齢に即して説明の詳細が異なります。低学年ですから、サラッと流して、命名由来から話したらどうでしょうか。漢字をいっぱい探した事や願いを託したこと。そして、とても心配したことや、嬉しかったこと、初めて歩いたときの様子、初めて言葉を話したとき、好きだった食べ物、保育園や幼稚園入学のときや、祖父母にとっての孫誕生の喜び……いっぱいあります。そして、いつの間にか「こんな事が出来るようになったんだ！」と親としてすごく嬉しかったことなどを話してあげてください。きっと、子どもは「もっともっと話して！」とねだることだと思います。この話でのポイントは、子どもの「長所伸長主義」を大切にすることです。短所はよく目につくものですが、長所は目立ちません。わが子理解を通して、子どもの秀抜性を見抜く力を保護者は付けなくてはなりません。わが子の良いところをさっと、10箇条言えればわが子理解が進んでいると言えましょう。（つづく）

第55回読書感想文コンクール課題図書

標記コンクールの課題図書が下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

[小学校低学年]

「おこだでませんように」小学館
「しっばいにかんぱい！」童心社
「ちょっとまって、きつねさん！」光村教育図書
「てとてとてとて」福音館書店

[小学校中学年]

「そいつの名前はエメラルド」金の星社
「風邪をおいかけて、海へ！」国土社
「しあわせの小犬たち」文研出版
「オランウータンのジプシー」多摩動物公園の「パ」オランウータン
ポプラ社

[小学校高学年]

「春さんのスケッチブック」汐文社
「ぼくの羊をさがして」あすなろ書房
「ヨハネスブルクへの旅」さ・え・ら書房
「マタギに育てられたクマ：白神山地のいのちを守って」佼成出版社

[中学校]

「8分間のプレリュード」小峰書店
「時間をまきもどせ！」徳間書店
「月のえくぼ（クレーター）を見た男：麻田剛立」
くもん出版

[高等学校]

「縞模様のパジャマの少年」岩波書店
「夏から夏へ」集英社
「カレンダーから世界を見る」白水社

以上

三水会館図書室に並ぶのを楽しみに待ってください。

◆パトロール当番予定表 5月16日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小4	3	古賀善二郎
2		4	クリステンセンイザン
3		5	山田枝菜
4		7	村上ニコラス大樹
5		8	高倉 堇
6		9	水野妃菜穂
7		10	デビットツツ ジリアン
★PM1リーダー	小3	11	長谷川巴菜
2		12	山田琴乃
3		13	百足直樹
4		14	全 梨蓮
5		15	納 昂人
6	小4	16	原口雅隆
7		17	君塚優花